

精神病床における認知症入院患者に対する追加調査について

精神・障害保健課

平成22年8月

目的

精神科病院における認知症入院患者に対する医療の状況、患者の状態等について、既存の調査では把握されていない点について詳細に把握し、新たな地域精神保健医療体制の構築に向けた検討チームにおける検討資料とする。

調査対象

認知症の入院患者を多く受け入れている病院（10か所程度）のうち、認知症治療病棟などの特定の病棟に入院する認知症患者を調査対象とする。

調査項目

- 1 調査対象病棟における入院患者の概要
病棟種別、入院患者数（認知症の割合）、職員配置数、在院日数等
- 2 医療の状況
薬物療法の状況、医療処置状況、精神科リハビリテーションの状況 等
- 3 患者の状態
診断名、精神症状の頻度、日常生活自立度、入院経路、家族の状況、受入施設の状況、退院後に必要なサービス 等

※2及び3については、調査対象病棟の認知症入院患者を対象とする。

調査方法

調査票を送付し、調査対象病棟の担当者に記入してもらい、調査票を回収・分析する。必要に応じ、回答項目に対する詳細についてヒアリングを行う。

調査期間

平成22年9月